



20 飯 都 国 発第28 号

平成 20 年 10 月 15 日

国土交通省道路局長 様

福岡県飯塚市新立岩 5 番 5 号

飯塚市長 齊 藤 守 史



今後の道路行政についての意見・提案の
提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼のあった標記の
件について、別紙のとおり提出します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

- ① 今般、国道において地方委譲の議論がなされております、その対象と考えられる国道は、都市計画道路や都市間幹線道路であるにもかかわらず、車線や歩道の幅員が十分に確保されていないものがあり、道路利用者及び周辺住民からは改良要望が多くあがっておりますので、地方委譲の際には、維持修繕費に限らず改良費及び人件費についても負担をお願いします。
- ② 財政的に厳しい状況下にあることから、補助事業の補助率アップを要望します。
- ③ 現在、着工されている国道工事の早期の完成を要望します。
- ④ 現在、本市で管理している市道は、路線数 3,732 本、実延長 1,023km であり、老朽化した路面や破損部分の維持補修に苦慮している状況にありますので、道路維持費に関する補助事業の充実を要望します。

○現状

福岡県の中心部に位置する本市には、一般国道 200 号、201 号、211 号の 3 本の国道が骨格を形成し、主要地方道が国道を補完しています。

さらに、一般県道、市町道が本市内及び地域外の主要都市を結んでいます。

特に主要幹線道路の一般国道 200 号、201 号バイパス、及び主要地方道路の飯塚福岡線は、都市の主軸となるため、地域の交通状況にあった道路整備が必要です。

○課題

福岡県の中央に位置する本市において、学園都市の形成を踏まえた情報産業等の充実、さらには、現在、造成を行おうとしている工場団地への企業誘致の促進を図り、本市の経済的基盤を高めるために、広域幹線交通軸としての一般国道 200 号、201 号、同バイパス、211 号の道路整備による広域ネットワークに加え、主要地方道、一般県道、市道の道路整備による地域内循環道路の整備は必要不可欠なものである。

また、生活道路の整備や、今後の適切な維持管理のあり方に対しての関心は高く、市内の地区間連絡を図る道路の改良や中心市街地周辺における渋滞の解消、バリアフリー化など、子供、高齢者、障害者をはじめ、すべての人に配慮した道路空間の高質化が一層求められる。

公共交通機関の不便性から、車は市民の足となっているが、車線が狭く、歩道も無い道路が数多く見られる。本市においても高齢化は進んでおり、子供や高齢者の安全性の確保は、大きな課題であるといえます。

そのような中で、目指す将来像は、「子供や高齢者が安全に歩行できる歩道が設置されている道路で、市民の足としての車が、十分に機能を生かせるような交通事故のない街」を目指します。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

福岡県飯塚市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	本市において、学園都市の形成及び工場団地造成に伴う企業誘致の促進を図るためには、広域幹線交通軸としての一般国道 200 号、201 号、同バイパス、211 号の道路整備による広域ネットワークに加え、主要地方道、一般県道、市道の道路整備が求められます。	学園都市の形成による、情報産業等の充実、及び工場団地を企業に誘致することにより、雇用の場が出来ることから、人口の減少の歯止めとなり、このことが、経済効果に波及すると考えられる。	